

第3学年 学級活動指導案

平成27年1月16日（金）第5校時

安田町立安田小学校

第3学年（男子4名、女子4名、計8名）

場所 3年教室

授業者 後 藤 弘

1. 題材「我が家の防災の取り組みをパワーアップさせよう！！」

（2）カ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」

2. 題材について

（1）題材観

学習指導要領では、学級活動(2)-カ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」において、安全指導として、「防犯を含めた身の回りの安全、交通安全、防災など、自分や他の生命を尊重し、危険を予測し、事前に備えるなど日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、進んで決まりを守り、危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育成する」必要性が述べられている。そこで、近い将来に起こるであろうと言われている南海トラフ地震に備え、いついかなる時でも自らの命を守ることができるよう学習をしてきた。このことをより確かなものにし、冷静に判断し行動する力をさらに高めるため、命を守るためにも備えの重要性を考え児童自らが家庭で実践する活動を題材として設定することとした。また本校の防災教育の中学年重点目標は、「①発生時には、教師や大人の指示に従うとともに、状況に応じて自らも適切に行動できるようにする。」「②発生後には、家族や友だちと積極的にかかわり、周りと協力して人のために役立つ行動ができるようにする。」「③自然災害の種類や発生のメカニズムを知り、それらに備えた学校及び地域の取り組みを理解し、活用できるようにする。」であり、本題材の学習は、この3つの目標に沿うものであると考えている。

（2）児童観

本学級は、スクールバスを使って片道約20分かけて山間部から通う児童がいたり、海から約200m以内の場所に家がある児童がいたりと様々な住環境の児童がいる。児童は、防災学習（南海トラフ地震等）で地震の揺れから身を守る方法として頭を守る・落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に身をよせることの大切さを理解している。また、津波から逃れるために高台に避難する訓練も行ってきた。地域によっては、夜間避難訓練等にも親子で参加し、防災意識を高めている。

しかし、防災アンケート（H26年度5月実施）を見ると、「地震などで避難した後に、家族と集合する場所を決めている」と「地震などで避難した後に、家族との連絡の取り方を決めている」と答えた児童はいない。そして、「一人で登下校しているときに地震が起こったら、安全な場所に避難することができる」と答えた児童は、1名である。また、「地震に備えて準備している」と答えた児童は、3名にしか過ぎなかった。このことから、全校生徒が地区ごとに班を作りそれぞれの避難場所の確認を行ったり、特別活動の時間に我が家の備えを考えようと題して寝室での家具の配置や転倒防止について考えたりもしてきた。やはり児童一人ひとりの南海トラフ地震に対して

の心構えや、各家庭での地震に備える対策はまだまだ充分ではないと感じた。そのためにも、防災チェックシートには家の中をチェックしてみようという項目を作成している。防災チェックシートの項目の中には、家具の転倒防止の備えや火災に対する備え、通学路の安全確認や家族との避難場所や連絡の取り方に対するチェック内容も入れた。このチェック内容を入れることによって、家族防災会議を行う重要性も感じてほしいと願っている。

(3) 指導観

本時の学習において、児童各自がこれまでの防災学習の既習事項を基に、自分の家庭での様子を振り返り南海トラフ地震の備えの取り組みが必要であることや、避難行動における約束が必要であることを考え、家庭に何を知らせていくのかを決め発表する。その内容が適切な内容なのかを児童たちに考えさせることによって、防災意識がより深く強いものになることをねらう。また、それぞれの家庭で何の取り組みをすべきかを考えることによって、防災学習の思考・判断・実践力の向上に繋がると考えた。このことは、本題材でねらう家庭の安全に貢献していこうとする態度や、自分たちの安全行動や役割に責任をもち生活していこうとする実践力にも繋がってくる。

児童が作成したポスター等を資料としながら、各家庭で防災について取り組むべきことをより細かく話し合わせ、家庭での防災意識の高まりや積極的な避難行動に繋がってくれればと願っている。

3. 指導のねらい

- ・南海トラフ地震に備えて、我が家の防災の取り組みを見なおし、自分にできることを考え、実践することができる。

4. 学級活動の評価規準 (2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活上の問題に関心を持ち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活を作るために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

5. 事前の指導（活動）

時数	場	○指導（活動）のねらい ・指導（活動）内容	目指す児童の姿◎ （評価方法）
	帰りの会	○防災チェックシートにより、我が家の防災についての課題をつかむ。 ・防災チェックシートを通して、我が家の防災対策を確認する。	◎我が家の防災対策についての状況と課題をつかんでいる。 【関心・意欲・態度】 （防災チェックシート）

6. 本時の指導（活動）

(1) 本時のねらい ○南海トラフ地震に備えて、我が家の防災の取り組みを見直し、自分にできることを考えることができる。

(2) 展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す児童の姿◎ (評価方法)
導 入	1. 本時の学習について知る。 2. 課題をつかむ。	・事前に記入した, 防災チェックシートを確認させる。	
	課題：我が家の防災の取り組みをパワーアップさせよう！！		
展 開	3. 家庭で必ず取り組んでおきたい内容を発表する。 ・揺れからの身の守り方。 ・ ぐらっと揺れたらすぐ高台へ避難。 ・家族で避難場所を確認しておく。 ・避難後の連絡方法を決めておく。 ・我が家の防災対策。(家具の転倒防止, 配置の見直し, 非常持ち出し袋等) 4. 我が家の防災について自慢したことや、困っていること、分からなくて友だちに聞きたいこと等を考え話し合う。	・既習事項の身の守り方を最重点に取り上げ、その結果避難に繋がることを振りかえさせる。 ・友だちが困っていることや、分からなくて聞かれたことを中心に話し合うようにさせる。また、既習の地震の揺れから逃れることが、津波の被害から逃れられることを確認する。	
終 末	5. 振り返りカードに我が家の防災の課題解決に向けて、自分にできることと本時の感想を書く。	・防災チェックシートの No. 1 と No. 8 結果から、我が家の防災の課題をつかませ、課題解決に向けた内容にするよう助言する。 また、取り組んでおきたい5つの項目をもとに考えさせる。	◎我が家の防災についての課題をつかみ, 解決に向けて取り組むべきことを考えている。 【思考・判断・実践】 (発表・チェックシート)

(3) 準備物 防災チェックシート, 振り返りカード, 掲示用防災チェックシート

(4) 板書計画

我が家の防災の取組をパワーアップさせよう!!

パワーアップ作戦

・揺れからの身の守り方。・ ・ ・ ・ ・ ○○○○○○○○○。

・ぐらっと揺れたら高台へ避難。・ ・ ・ ○○○○○○○○○。

・家族で避難場所の確認をしておく。・ ○○○○○○○○○。

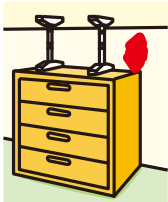
・避難後の連絡方法を定める。・ ・ ・ ○○○○○○○○○。

・我が家の防災対策。・ ・ ・ ・ ・ ○○○○○○○○○。

防災チェックシート

7. 事後の指導（活動）

時数	場	○指導（活動）のねらい ・指導（活動）内容	目指す児童の姿◎ （評価方法）
	家庭	○我が家の防災の課題解決に向けて、自己決定したことを行動にうつすことができる。 ・家族防災会議を通して、自己決定したことに取り組む。	◎我が家の防災の課題解決に向けて、自己決定したことを実践している 【思考・判断・実践】 （振り返りカード，発表）
	帰りの会	・実践したことを報告し合う。	



No.1 まず、家の中をチェックしてみよう!!

○・×

① 家具などがたおれないようにくふうしている。	
② 食器だなや窓のガラスが割れても飛びちらないように、フィルムをはっている。	
③ 高いところには、ものをおかないようにしている。	
④ 台風のきせつには、テレビやラジオで台風じょうほうをチェックしている。	
⑤ コンロやストーブなど、火のそばにもえやすいものをおいていない。	
⑥ ふだん使わない電気ききのコンセントをぬいている。	
⑦ ひなんするときのつうろに、大きなにもつなどをおいていない。	
⑧ 消化器やバケツをいつも用意している。	
⑨ いざというときのひなん場所や家族とのれんらく方法を決めている。	
⑩ 通学路やいつも通る場所で、きけんな場所があるか知っている。	
⑪ 寝ている部屋から避難するとき、たおれてきたり落ちてくるものはない。	
⑫ まくらもとにクツを準備している。	
⑬ 寝ているそばに、たおれやすい家具や落ちてくるものはない。	
⑭ 電球が割れたり落ちてこないようにしている。	

No.8 災害がおきたとき、つぎのことを知っていますか？

○・×

① 広域避難場所。	
② 家族みんなの集合場所。	
③ 家族との連絡方法。	
④ 非常持ち出し品。	
⑤ 災害時伝言ダイヤル。(171番)	